

様式1 令和4年度 山梨県立ひばりが丘高等学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	自分に誇りを持ち自己を磨き、毎日を生きて学ぶ生徒。自分を見つめ困難に打ち克つ生徒。社会人として自立し役割を担うことのできる生徒の育成
-----------	--

山梨県立ひばりが丘高等学校校長 加藤 幸一

本年度の重点目標	1 自主・自律的な生活態度の育成に努め、基礎的生活習慣の確立を図る。 2 学ぶ意欲を持ち、夢の実現の為に各個人の個性を伸ばす指導に努める。 3 他人を思いやり、敬愛し、協力と奉仕のできる豊かな心情の育成に努める。 4 ドリカムプランを通じて生涯にわたって自己の成長を図ってゆく。
----------	--

達成度	A	ほぼ達成できた。(8割以上)
	B	概ね達成できた。(6割以上)
	C	不十分である。(4割以上)
	D	達成できなかった。(4割以下)

評価	4	良くできている。
	3	できている。
	2	あまりできていない。
	1	できていない。

自 己 評 価						
本年度の重点目標			年度末評価(令和5年2月 日現在)			
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	自主・自律的な生活態度の育成に努め、基礎的生活習慣の確立を図る。	すべての教員による組織的な生活指導の下、基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上に努める。	学校評価アンケート			
		生徒会活動等の充実を図り、自主的自律的な生活の育成に努める。	学校評価アンケート			
		教職員は、生徒にとって最も身近な社会人のモデルとして、自らの勤務時間やワークライフバランスを意識し、時間外在校等時間の縮減に努める。	勤務時間調査			
2	学ぶ意欲を持ち、夢の実現の為に各個人の個性を伸ばす指導に努める。	全教科・科目においてシラバスにより授業内容・評価規準(評価の観点)を明確にし、観点別評価を生徒にフィードバックすることにより、学習意欲を喚起させる。	授業観察・学校評価アンケート・授業アンケート			
		基礎基本を大切に、個に応じた学習を充実させるとともに、主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善に取り組む。	授業観察、授業アンケート			
		ICT及びBYODを活用した学習支援を推進するとともに、特別支援教育の研修に取り組み、授業のユニバーサルデザイン化を充実させる。	学校評価アンケート、授業アンケート			
3	他人を思いやり、敬愛し、協力と奉仕のできる豊かな心情の育成に努める。	集団活動やボランティア活動をととして、自己肯定感、自己有用感や責任感、協調性を育成する。	学校評価アンケート			
		教職員は生徒・保護者との望ましい関係を構築し、いじめを許さない雰囲気と意識作りとともに、理解啓発を進める。	いじめアンケート、学校評価アンケート			
4	ドリカムプランを通じて生涯にわたって自己の成長を図ってゆく。	「創作授業」・「総合的な学習・探究の時間」をととして、自らの在り方生き方を踏まえて、自己理解から他者理解へと社会性を広げ、課題を解決する取り組みを行う。	学校評価アンケート			
		「静聴の時間」・「生活体験文」をととして、他者のことばに耳を傾け、自分を見つめ直し、客観的に自己を表現する力を養うとともに豊かな心の育成に努める。	生徒アンケート			

学校関係者評価	
実施日(令和5年3月 日)	
評価	意見・要望等

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
 (2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。